

## 子どもと「博物館」に出かけませんか？

ある社会の過去について知るためには博物館を、現在を知るためには市場を、未来を知るためには図書館に行くべきだという言葉がある。昨日の歴史から今日と未来を知ることができるため、博物館は子どもにとって歴史と暮らしを体系的に体験できる教育の行き場となっている。特に、博物館は遠い昔から近い昔まで、数多くの人々が残した足跡と伝統を一ヶ所で鑑賞できるため、意味深いところである。

過去と現在をつなぐ多彩な展示物がある富川の博物館、ここで様々な楽しみを見つけてみよう。もしかしたら、日常の短い出かけで期待以上の感動が受けられるかもしれない。

### 韓国漫画博物館「漫画のすべてが楽しめる」

大韓民国漫画の心臓部である富川に堂々と位置している韓国漫画博物館。漫画マニアはもちろん、漫画マニアではなくても必ず行くべきところ、韓国漫画100年の思い出をそのまま体験できる名所である。

韓国漫画博物館の扉を開けて入ったらすぐに韓国漫画の歴史と現状を体験できる様々な作品と作家に出会える。アニメーション上映館、企画展示空間、体験展示空間など、豊かな見どころと体験の場を誇る韓国漫画博物館の隅々を見回ってみよう。



### 富川弓博物館「実際に弓矢の体験もできる」



富川弓博物館は、故キム・ジャンファン先生の国弓関連遺品240点を始め、約500点余りの弓関連資料を所蔵している。展示室には様々な種類の伝統的な弓や制作道具など、韓国の弓文化の悠久な歴史を察知できる様々な遺物が展示されている。先史時代に使っていた鏃を始め、三国時代の矢、高麗時代に使っていた弩、朝鮮時代の科挙で使っていた弓や矢及び王の弓術儀式時に使っていた儀礼用の弓にも出会える。

## 富川市立博物館「4つのテーマ展示室(甕、欧州磁器、水石、教育)が一ヶ所に」

富川市立博物館は、富川のあちこちに分散していた教育・欧州磁器・水石博物館と既存の甕博物館を統合し、2020年12月に再開館した。文化都市富川の文化コンテンツをさらに豊かにする富川市立博物館は、計4つの専門展示室で構成されている。

韓国教育の興味深い足取りが感じられる教育展示室、珍しいヨーロッパの磁器が一望できる欧州磁器展示室、数千年の歳月の中で大自然が作り上げた水石の美しさを鑑賞できる韓国唯一の水石専門展示室、韓国伝統甕文化を一目で分かる甕展示室など、過去への真新しい空間の旅に立つことができる。



## 自然生態博物館「種々の生物が生きて動くところ！」

自然生態博物館は、今では都市で見かけにくい生物図鑑の中の植物や昆虫、淡水魚に出会える楽しみを満喫できる名所である。特に様々な展示生物の生態が一目で分かるようになっており、生態体験館、河川生態館、昆虫神秘館、恐竜探検館の4つの常設展示館と3D映像館、ホルシ図書館、収蔵庫などで構成されている。何よりも周りの森と調和をなしており、富川市民にとって息づく自然学習の場としての役割を果たす博物館として位置付けられている。

